

海の豊かさを未来へつなぐ

—海人目線でみる赤土汚染の現状とこれからに向けて—

○表原 陸※¹・山内 岬※¹・紫波 俊介※¹
湧川 雅代※²・岸本 和雄※²

※¹：沖縄県水産海洋技術センター普及班

※²：沖縄県農林水産部水産課水産企画班

令和7年度赤土等流出防止交流集会

突然ですが・・・

皆さまがご想像する
沖縄県の海は
どのような海？

沖縄県の海

スズメダイ



Photo by Riku Omotehara

カクレクマノミ



Photo by Riku Omotehara

ミズシンの群れ



Photo by Riku Omotehara

海草藻場



Photo by Riku Omotehara

陸域から海域への赤土等の
流入が止まらない!

赤土流入



赤土流入後



はじめに

沖縄県赤土等流出防止条例が制定 (平成6年度)

赤土土壌の分布



本島北部地区は
国頭マーヅの分布が集中

降雨時の様子



影響

漁業

水生生物

観光

海人目線から見た
赤土汚染の現状とこれからに
向けて

調査海域一本部駐在

名護市
羽地内海
アーサ養殖

SPSS採取

東村
平良湾
モズク養殖

潜水調査

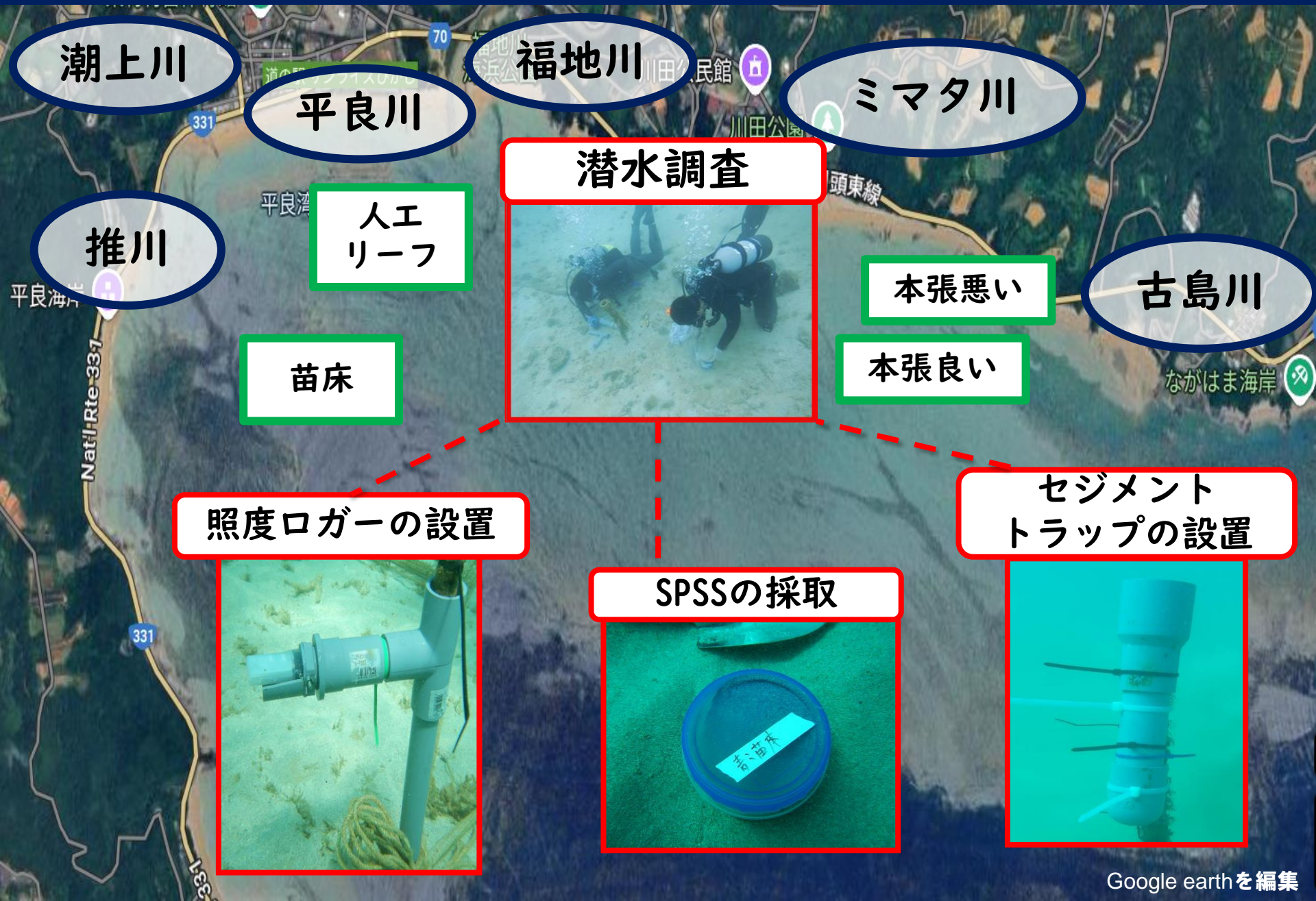
水産海洋技術センター
普及班（本部駐在）
栽培漁業センター内

恩納村
アーサ養殖

宜野座村
モズク養殖



東村平良湾—調査内容—



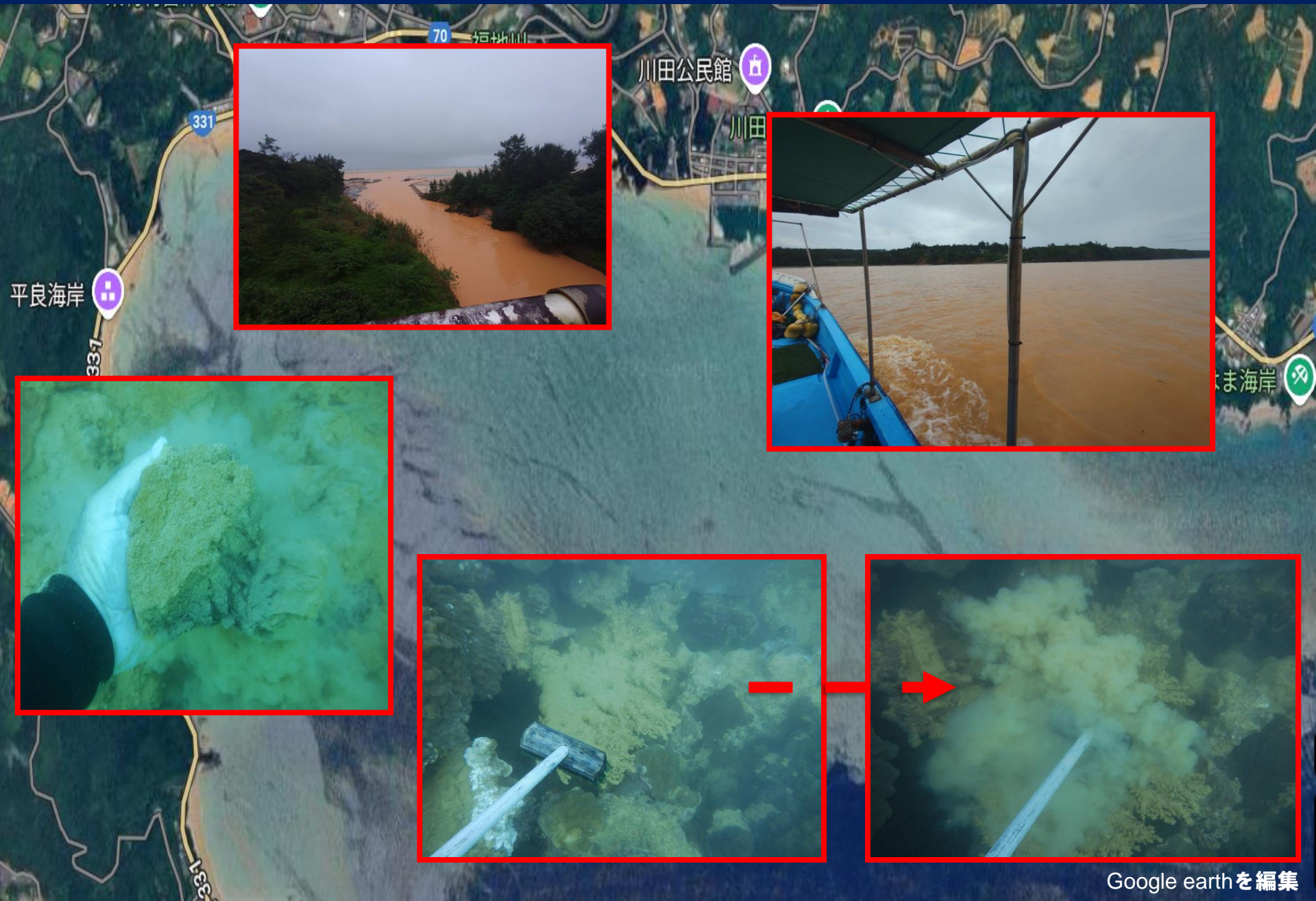
東村平良湾一赤土流入2025年7月撮影一



東村平良湾一赤土流入2022年6月撮影一



漁場への赤土流入状況－2024年11月-12月－



漁業への影響ーモズク養殖・潜水漁ー

モズク養殖への影響

- ・ 苗床場にてモズク網に赤土大量付着
 - ・ 本張り場にてモズクに赤土大量付着
 - ・ R4年度は約500枚のモズク網の芽だし不調
- ※国頭漁協養殖・潜水部会資料参照

今期も収穫ゼロ
4年連続で収穫
できず、、、

潜水漁への影響

- ・ 濁りによる操業制限
※漁獲効率の低下・海中の照度低下による視界不良の事故防止
 - ・ R4年度は136日間漁の制限
- ※国頭漁協養殖・潜水部会資料参照

名護市の海域ー許田 (2024年9月) ー



国頭村の海域一浜（2024年11-12月）一



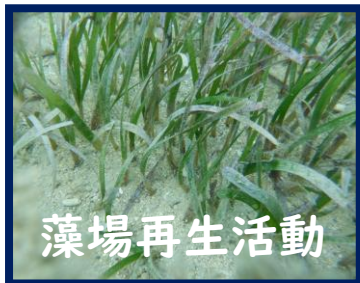
海人が行う赤土対策へ向けた取組

海域への**赤土流入**は依然として
止まらない・・・

漁業活動にも**影響大**

海人が中心となり活動

- **陸域負荷対策**
- **藻場再生活動**の実施
- **地域と連携**した取組



現在行われている取組と今後の展望について紹介

本部駐在が行う赤土対策へ向けた取組ー普及啓発活動ー

2025/4/23



2025/7/10



2025/8/6



2025/9/9



継続的に普及啓発活動を実施

本部駐在が行う赤土対策へ向けた取組ー普及啓発活動ー

展示資料（本部駐在作成）



出前授業の様子（東小学校）



本部駐在 取組

NP0等との連携（展示資料貸出）

陸域対策の解説 → 陸人の気持ち

漁業者による解説 → 海人の気持ち

赤土による海域汚染は、まだ**進行中**

最後に



改めて


1995年

生命は海で生まれた。
でもその海が今ピンチなんだよ。
その海を人間はどんどん汚しているんだ
※未来の大人達へ向けたメッセージ

2025年

サンゴ礁への赤土等の堆積

海を守るために自然の仕組みを理解し、
地域を含めた皆で協力する事が大切

An underwater photograph showing a dense field of green seaweed or kelp. The water is a deep blue, and the seaweed is a vibrant green, filling the lower half of the frame. The text is overlaid in the center.

ご清聴ありがとうございました

2025/8/16撮影 東村沖